発表要旨レイアウト見本（表題MSゴシック10.5 pt中央揃え）

左余白：22 mm、

右余白：22 mm、

上余白：35 mm、

（改行）

　　　　　　　　　　　発表者所属 ○発表者氏名、連名者所属 連名者氏名、

連名者所属 連名者氏名、 MS明朝体10.5 pt

（改行）

1．原稿の作成（大見出しMSゴシック10.5 pt）

PDFファイルとし、メールに添付して提出すること。ファイルのサイズが大きい場合（概ね5MB以上）は、電子媒体（CD等）に収録し郵送すること。提出されたものに事務局でページ番号等をふり、版下とします。

本文（ＭＳ明朝体10.5 pt）、2段組、１段23字×37行、段間スペース約8 mm。ただし、表題・発表者所属氏名が入るため実際の本文行数は30～33行が目安となる。

（改行）

2．ページサイズとページ数、および引用形式

A4、1ページとする1)。

（改行）

3．ページレイアウト

3-1．余白（中見出しMSゴシック体10.5 pt）

上：35 mm、下：35 mm、左：22 mm、右：22 mmとする。ページ番号はなし。

3-2．表題・発表者所属氏名

3-2-1．表題（小見出しMS明朝体10.5 pt）

1行目に表題を記述する。中央揃えとし、表題が長い場合や副題がある場合は適宜改行する。

3-2-2．発表者所属氏名（MS明朝体10.5 pt）

表題から１行あけて発表者の所属・氏名記述する。右揃えとし、連名者が多い場合は適宜改行する。ま

（図表写真と本文の間は１行程度あける）

下余白：35 mm、

図・表・写真はモノクロで、当該位置に貼りこむ。図・表・写真は、図1、写真1、表1のようにそれぞれ通し番号をふり、図・写真は下部に、表は上部にキャプションをつける。

図1　図・表・写真

|  |  |
| --- | --- |
| 部分 | フォント　ポイント数 |
| 表題 | MSゴシック体　10.5pt |
| 副題 | MSゴシック体　10.5 pt |
| 所属・著者名 | MS明朝体　10.5pt |
| 本文 | MS明朝体　10.5pt |
| 大見出し | MSゴシック体　10.5 pt |
| 中見出し | MSゴシック体　10.5 pt |
| 小見出し | MS明朝体　10.5 pt |
| 図、表、写真キャプション | MS明朝体　10.5 pt |
| 引用文献 | MS明朝体　8 pt、改行幅は適宜調整してよい。 |

表1　書体と文字の大きさ

た、発表者名の前に○を付けること。

本文と１行あけるものとする。

3-3．見出し

大見出し、中見出し、小見出しの表記序列は原則として、1．1-1．1-1-1．の順とする。なお、大見出しの前は1行あける。

（改行）

4．原稿送付先・問合せ先

E-mail: abstract.elr2017@gmail.com

郵送の場合：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学農学部　村上拓彦研究室ELR2017係　Tel & Fax: 025-262-6627

5．提出締切

2017年7月21日（金）必着。

引用文献（MSゴシック10.5 pt）

1)運委員会編：レイアウト見本、ELR2008福岡、発表要旨作成要領、pp.1-2、2008

2)本文中の引用箇所を肩付の数字で示し、文末に一括して文献を記載する（MS明朝体　8 pt、改行幅は適宜調整してよい）。